



■ 第1回生徒総会



生徒会長生村くんより、来年度の生徒会基本方針が提示されました。まず、2学年、171人の中、1人で壇上に立ち、自分の目指したい学校像を語り、全ての質問に丁寧に答えた生村くん。陰ながら総会の準備を進め、当日の進行を行った山田さん、伊豫岡くんの姿が立派でした。こうやって少しずつ2年生全体が成長できる、培う時間もう少しです。前に立つ人だけが成長するのでは、学年としての成長にはなりません。仲間の姿を見ながら、共に成長していきましょう。

生徒会基本方針とは、その年の生徒会、つまり附中生全員が目指していく学校像を生徒会長が示したものです。来年度は「繋がり、拓く学校」です。本日示された生徒会基本方針を柱に自分たちでこれからの附中を創っていきます。この基本方針は新しく大きなことを行うことよりも、当たり前のことに目を向け、強い地盤を固める年にするというものである気がします。

「附中の誇り」とは何ですか。会長の考えは右の基本方針に書かれています。では、あなたのもっている「附中の誇り」とは何ですか。何人くらいの方が答えられるでしょうか。そして、自分の中に答えがある人も、本当にそれだけでしょうか。仲間と共に語り合う中で、違う考えにふれ、あなたの考えはもっと質の高い豊かなものになるのではないのでしょうか。

共に語り合い、違う考えに触れ、豊かなものを創り上げる。これは、授業、学校行事、そして附中祭でも同じです。毎日、毎年行っていることです。しかし、それを意識できている人はどれくらいいるのでしょうか。人との繋がりの中で、たくさん支えられていることにきちんと感謝をしていますか？自分たちを学年やこの学校という集団として大切にし、繋がり合い、強く団結できていますか？これまでの先輩方が繋いできたものの意義を理解し、伝統を引き継ぐことができていますか？

当たり前のようにしていることをどれだけの方が当たり前に行っているのか。よく耳にする附中の「生徒の自主性」という言葉の意味をどれくらい理解し、附中生として主体的に行動できているか。平成から新しい元号に変わるこの年に、第40回目のパトンを渡す附中祭を行うこの年に、あなたたちが最高学年になるこの年に、もう一度、「附中の誇り」とは何か考えていけるといいですね。たくさんの人やたくさんの思いと繋がって、未来への可能性を拓いていってくれることを期待しています。

そして、生村くんを支えられる学年であってほしいと思います。会長としての生村くんの成長も、学年としてのみんなの成長もまだまだこれからです！

■ 年間統一テーマ・テーマソングについて

第3回以降の生徒総会では、年間統一テーマとテーマソングが決定します。年間統一テーマに関しては、1人1案を考え、学級で検討し、全校で検討する、附中生全員で創るものです。今年は各学級の案を代表者が放送で語る場もあり、一人ひとりが自覚と責任をもたなければ、よいものは創れません。

自分たちが3年生として学校をひっぱり1年を表わすものが決まっていきます。そのなかで最高学年の自覚と誇りをもった強く団結できる学年になりましょう。

年間統一テーマとは、附中生全員が生徒会長の掲げた学校像を分かりやすく、一人ひとりが言葉にしていくことに価値があります。年間統一テーマを見れば基本方針が思い浮かび、基本方針を読めば年間統一テーマが思い浮かぶようなもの。

テーマソングとは、生徒が自ら作詞作曲します。年間統一テーマを意識しやすいものが生徒総会で選ばれます。その曲は、来年度の様々な行事の中で歌われながら、その都度、基本方針の思いを確かめられるとても重要なものです。

生徒会基本方針

生徒会長 生村 暁一

私は「繋がり、拓く学校」を目指します。私が目指すのは、繋がりを大切にすることで、未来への可能性を拓いていくという学校です。私達は、この附中の自由な環境の中で生活しています。それは、私達附中生が自由の意義を考え、自治が出来るからです。その環境の中で、学校のために主体的に行動出来ることが附中生の誇りではないかと私は考えます。今、私達は、附中生の誇りをもっているでしょうか。そして、愛される学校を創れているでしょうか。今年度は、新しい時代に突入する中で、今まで先輩たちから脈々と受け継がれてきた繋がりや伝統を次代に受け渡す重要な年です。私達は今一度、附中生の誇りとは何かを見つめ直し、その思いを繋いでいく年にしていかなければなりません。今こそ、自分達は附中生としてどう在るべきなのかを考え、附中全体が強く繋がることで、未来への可能性を拓いていくためにこれから挙げる3つのことを意識して、その思いを繋いでいきましょう。

互いの誇りを大切にし、愛される附中を創ろう

〈人が繋がる〉

私達が附中生の誇りをもつためには、人との繋がりを大切にすることが第一歩になると考えます。私達附中生は、多くの人との繋がりの中で生活しています。その繋がりには、附中生同士、先生方、家族、地域の方々など様々です。人との繋がりを大切にし、語り合うことで多様な視点や価値観に出会うことで、附中の魅力に改めて気づき、附中生の誇りについて考えることに繋がるのではないのでしょうか。特に、地域の方々との繋がりには大切だと考えます。地域の方々に附中が愛されることが、私達の自信に繋がり、誇りと愛校心は強くなると考えます。多くの人との繋がりを大切にし、時に語り合い、時に議論し、附中の在るべき姿を全員で考えていきましょう。

同じ熱をもって、強く団結できる附中を創ろう

〈集団が繋がる〉

附中全体が強く繋がりをもつためには、それぞれの集団が熱をもって強く団結していかなければなりません。例えば、附中祭は文化、広場、体育と3つの部門から成り立ちます。全員がそれぞれの場面で責任をもって役割を果たしています。3つの部門で一人ひとりが集団の一員として附中祭の成功に向けて取り組みます。これは、日々の授業や委員会でも同じで、学級や学年、各委員会などで、一人ひとりがそれぞれの集団に属し、学校のために主体的に活動しています。附中全体が強い繋がりをもつためには、それぞれの集団が同じ熱をもって強く団結していかなければなりません。それぞれの集団同士が繋がることで強く団結できる附中になるのではないのでしょうか。

思いを引き継ぎ、思いを繋ぐ附中を創ろう

〈過去が未来と繋がる〉

今年度で附中は創立73年を迎えます。私達はこの長い歴史の中で附中の伝統を繋いでいます。例えば校歌をうたうこと。これは、直接会ったこともない先輩達と附中の誇りを共有し、時代を超えて学校を愛し、伝統を繋いでいると考えます。例えばテーマソングをうたうこと。これは、今年の私達の思いを繋げることです。その年ならではの学校を創ることを目指して、今まで先輩方がされてきたことです。今年度は今一度、附中の誇りについて考え、愛校心をもった強い集団として思いを繋ぐ学校を創っていきましょう。そして、これまでの先輩方の思いを引き継ぎ、しっかりとこれからに繋げていける一年にしましょう。